

### 第3節 産業教育振興法補助事業

#### 1 産業教育施設・設備の整備

##### (1) 高等学校産業教育施設・設備等整備費

県立高等学校における産業教育のための実験実習施設、設備の整備については、福島県長期総合教育計画に基づきその促進を図った。

昭和49年度末の充実状況は、次のとおりである。

区分 学科	施設			設備		
	基準面積	充実面積	充実率	基準金額	充実金額	充実率
	m <sup>2</sup>	m <sup>2</sup>	%	千円	千円	%
農業	108,438	58,115	53.6	817,119	544,598	66.6
工業	94,352	56,839	60.2	2,515,152	1,677,134	66.7
商業	20,880	12,601	60.3	361,612	247,211	68.4
水産	4,550	2,866	63.0	83,897	59,864	71.4
家庭	11,285	8,687	77.0	126,606	100,027	79.0
計	239,505	139,108	58.1	3,904,386	2,628,834	67.3

昭和49年度実績内容は、次のとおりである。

##### ① 一般施設費……………第9年次分

大学科名	学 校 名
農業 (5校)	岩瀬農業、東白川農商、田島、磐城農業 双葉農業
工業 (1校)	勿来工業
商業 (1校)	平商業

工事費	一般施設	355,062千円
	情報処理教育施設 (改造費)	14,070千円
	計	369,132千円
面積	一般施設	4,137m <sup>2</sup>
	(充実面積	3,416m <sup>2</sup> 充実率 1.4%)

##### ② 一般設備費……………第9年次分

大学科名	学 校 名
農業 (14校)	福島農蚕、岩瀬農業、白河農工、東白川農商 小野、耶麻農業、会津農林、田島、磐城農業 双葉農業、相馬農業、相馬農業館分校、 安達東、会津中央
工業 (11校)	福島工業、川俣、二本松工業、郡山西工業、 白河農工、塙工業、会津工業、喜多方工業、 平工業、勿来工業、小高工業
商業 (11校)	福島商業、保原、本宮、郡山商業、須賀川、 喜多方商業、平商業、小名浜、勿来、小高、 須賀川第二
水産 (1校)	小名浜水産
家庭 (14校)	郡山女子、白河農工、東白川農商、小野、 若松女子、猪苗代、耶麻農業、大沼、田島、 四倉、双葉農業、相馬農業、小高、安達東

設備費	一般設備	261,300千円
	情報処理教育設備	44,110千円
	計	305,410千円
	(充実金額	258,721千円)
	(充実率	6.6%)

##### ③ 設備更新費

昭和30～32年度に整備した産振設備で、老朽又は破損がはなはだしく使用に耐えない設備について、次のとおり更新整備を図った。

大学科名	学 校 名
農業 (3校)	会津農林、磐城農業、相馬農業
工業 (7校)	福島工業、川俣、郡山工業、白河農工、会津 工業、喜多方工業、平工業
商業 (3校)	郡山商業、喜多方商業、平商業
水産 (1校)	小名浜水産

設備更新費 18,000千円

##### ④ 特別設備

商業科特別設備として、超小型電子計算組織を整備する。

第1年次分 小高

#### 2 普通科等家庭科設備の充実

県立高等学校の普通科等家庭科教育実験実習設備について、次のとおり整備した。

学科名	学 校 名
普通 (15校)	福島女子、福島西女子、保原、須賀川長沼分校 田村、坂下、遠野、富岡川内分校、相馬女子 南会津、只見、好間、双葉、福島中央、会津女子
商業 (3校)	須賀川、喜多方商業、平商業
工業 (1校)	二本松工業
農業 (1校)	会津中央

設備費 6,000千円

昭和49年度末充実状況は、次のとおりである。

学科名	学校数	昭和49年度末		充実率
		基準金額	充実金額	
		千円	千円	%
普通科	37	121,416	91,930	75.7
商業科	7	21,686	17,601	81.2
工業科	2	6,052	3,689	61.0
農業科	1	3,530	2,011	57.0
計	47	152,684	115,231	75.5